



9月議会においては、9月13日に開催された“市民都市委員会”において、数名の議員より質問、また要望が出されました。

各議員からは、「ファミリー層や若者を対象にしたスケートボードパーク、バスケットボールゴール、大型遊具等、地元要望としてビオトープや公園におけるインクルーシブ遊具等、また、新駅まちづくり構想との連携による街の活性化、地域農業団体との連携などが提案されました。

市の担当窓口は、都市創造部 都市づくり推進課、道路課で、その見解によれば、「現在“庁内検討会議”で各課の意見を取りまとめ検討しています。」との事ようです。

また、前記補正予算400万円の使用用途は、現在検討中の内容を図面化する費用との事で、高架下全面を対象としているとの事でした。

参考に、左下に、市議会市民都市委員会に所属の市会議員及び補正予算の金額を高槻市ホームページより抜粋しています。

記事紹介 ☆ 第2名神高架下空間活用について (3)  
 ☆ コロナ感染者の波はウイルス生存戦略? ☆ NO<sub>2</sub>濃度測定 高槻全般

## 第2名神高速道路 高架下利用について (3)

### (高槻市) 高架下空間の利活用へ補正予算 計上 図面等作成業務委託費 400万円

前回までは、高架下活用の身近な例として、京都縦貫高速道路のおける、大山崎町、長岡京市での状況を紹介しました。

高槻市でも、2年後の開通を見て、その高架下空間の活用の検討が進められようとしています。この9月議会において、図面等作成業務委託費として都市創造部担当で400万円が計上されました。

#### 市民都市委員会

市民生活環境部及び都市創造部の所管に属する事務に関する調査並びに議案、請願及び陳情等の審査を行う

木本 祐(委員長)、中村玲子(副委員長)、甲斐隆志、高木隆太、高島佐浪枝、竹中 健

遠矢家永子、宮田俊治、山口重雄

都市創造部	新名神高速道路関連	4,000	新名神高速道路(高槻以東区間)の高架下空間の利活用に向けた図面等作成業務委託
	水防事務	500	市町村災害復旧相互支援機構負担金

#### コロナ 新規感染者の増減の波は何故?

### ウイルス「生存戦略」!!!

“コロナウイルス” 新規感染者がかなり減少してきています。所で、この感染増減の波はなぜ起きているのでしょうか? 巷では“人流”を抑制すれば減少するような事が言われていますが、統計で表わされるコロナの波と都会の人流の波はあまり一致していないのではないのでしょうか?こんな疑問を持ち続けている時、9月20日の毎日新聞夕刊に「ウイルス生存戦略」の記事を見つけました。今回の事態を“ウイルス”側から考える、ワクチン開発に長年取り組んできた「大阪大学感染症総合教育研究拠点長 松浦善治教授(ウイルス学)の見解です。以下に、毎日新聞記事を転載させて頂きました。

「ウイルスは生きた細胞の中でしか増殖できない。感染した細胞が死ぬほど病原性が高すぎると、ウイルス自体も効率的に増えられない。そのため、絶えず変異を繰り返して感染力や病原性を変化させ、生き残りを計る。その過程で感染の増減も起きる。多様なウイルスと格闘してきた松浦教授は「インフルエンザは季節性で新しい変異が少し入りながら冬に流行する周期を繰り返すが新型コロナは非常に変異しやすい」と説明。(人間界に広がってまだ間もないので、人とウイルスがお互いに探り合いながら落とし所を探しているプロセスなのでは)と推察する。今回の感染急減も収束と拡大を繰り返す局面の一つと考えられるとし、「感染が一時的に減少しても新たな波は来る」と警鐘を鳴らす」

さて、あなたは如何考えられるでしょうか? 私は、松浦先生派ですが。 m/m



ソラダス2021 (第9回府下一斉NO<sub>2</sub>簡易測定運動)  
第14回NO<sub>2</sub>簡易測定結果報告  
2021.5.20 ~ 5.21

全日本年金者組合  
高槻支部  
環境測定サークル  
TEL. 072-685-8640



5月 NO<sub>2</sub> 濃度測定結果 高槻全般

左図に示すのは、今回5月20日~21日に実施されました「ソラダス2021 NO<sub>2</sub>簡易測定」に於いて、高槻地区で実施された測定値を表にしたものです。この実施団体は、「全日本年金者組合 高槻支部 環境測定サークル」で、今回で14回目の測定となるそうです。当日は約60数名の皆さんが約120箇所にカプセルを設置されています。前回同様、今回も団体が発行されています機関紙「環境測定ニュース 28号」より転載させて頂きました。今回は、かなりのサンプルがNO<sub>2</sub>濃度検出時の発色作業工程時の作業ミスで数値を得る事が出来なかったとの事です。左図で測定ポイントのみプロットされているものがそのサンプルに相当します。

本報告は、高槻地区全域におけるNO<sub>2</sub>の濃度分布を良く示しています。何時ものように、幹線道路近辺の濃度が高くなっているのが解ります。

また、このほかに自治体梶原測定局地点で7日間連続測定を、自治体測定局データと比較測定のため、梶原局と高槻市役所局に各5個の測定管を取りつけられています。自治体測定局5か所(高槻北、庄所、梶原、高槻市役所、島本町役場)速報値の平均が0.18ppmという結果です。

私達「高槻・五領の環境とこどもの未来を守る会」は、五領地区内に於いて、同じ時間帯にサンプルを取付データ採取をしています。次回号では、五領地区データを今回同様、地図にプロットしたものを報告する予定です。

発行 : 高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表 : 上田 博夫

住所 : 〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内

電話番号 : 090-2283-1619 (村井)

ホームページ : <https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdofree.com/>

編集部 : COVID=19 第1波から第5波と新規感染者数は人間の営みに逆らうかのようにその増減を繰り返しています。コロナが意図を持っているのかな?と置いていたら、松浦先生の話が新聞に! 早速、本号で紹介させて頂きましたが、これもすぐ当日のテレビで“勝手な解釈をするのはけしからん”と、この記事にかみついている方がおられました。

次回「守る会」定例会は、10月23日、第4土曜日

16:00~18:00、上牧公民館(上牧町本澄寺前)で開催します。

連絡は、事務局村井(masa569@tcn.zaq.ne.jp)迄